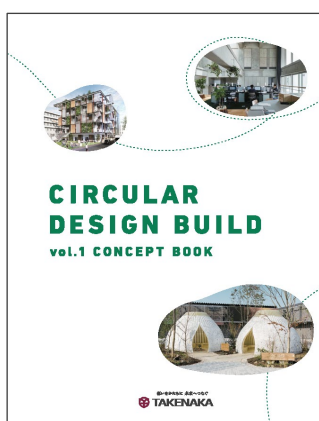


2026年2月18日  
株式会社竹中工務店

## 「サーキュラーデザインビルドコンセプトブック」をWEBサイトに公開 ステークホルダーとの対話・協働を促進し、サーキュラーエコノミー実現へ

竹中工務店（社長：佐々木正人）は、「サーキュラーデザインビルドコンセプトブック」を当社コーポレートサイトに公開しました。サーキュラーデザインビルド®とは、当社が提唱する考え方で、建築物の設計および施工段階でリユース・リサイクル建材の選択や解体を考慮した設計手法の検討などを行うことで、サーキュラーエコノミーを実現していく取り組みです。本コンセプトブックは、この取り組みの考え方と実践例をまとめたものです。



<Web サイト>

日本語版 : <https://www.takenaka.co.jp//library/booklet/>

英語版 : [https://www.takenaka.co.jp/takenaka\\_e//library/](https://www.takenaka.co.jp/takenaka_e//library/)

サーキュラーデザインコンセプトブック 表紙

### ■「環境戦略 2050」における位置づけ

竹中グループでは「脱炭素」「資源循環」「自然共生」をバランス良く調和させることでリジェネラティブでウェルビーイングな未来の実現を目指した「環境戦略 2050」を 2025 年 4 月に策定しました。

「資源循環」では、サーキュラーデザインビルドを実施するプロジェクトについて以下の目標を掲げています。

- ・ 2030 年：サーキュラーデザインビルド ACTIONS※ 100%
- ・ 2050 年：サーキュラーデザインビルドプロジェクト 100%

※「サーキュラーデザインビルド」の実現に向けた技術実装や提案活動などを「ACTIONS」と表現し、これらの取り組みを促進する活動。

### ■本コンセプトブックの目的

竹中グループが掲げる「リジェネラティブ・ワークス®」の理念に基づき、本コンセプトブックは以下を目的としています。

- ・サーキュラーデザインビルドの考え方と実践例を広く発信
- ・ステークホルダーとの共通理解を深める
- ・資源循環の推進を通じて、サーキュラーエコノミー実現への対話と協働を促進